

パックマンと一緒にサステナビリティを学ぶ！「PAC-MAN AR-sustainable quiz-」を無料公開
バンダイナムコグループ従業員に向けた「サステナビリティ WEEK」も開催

株式会社バンダイナムコホールディングス（本社：東京都港区、代表取締役社長：川口 勝）は、バンダイナムコグループ「サステナビリティ WEEK」の一環として、サステナビリティを学べる AR コンテンツ「パックマン エアール サステナブル クイズ PAC-MAN A R-sustainable quiz-」の無料公開を2023年9月1日（金）～12月31日（日）の期間で実施します。

また、バンダイナムコグループ「サステナビリティ WEEK」を開催する2023年9月4日（月）～8日（金）の間中には、グループの従業員に向けた様々な施策を実施します。SDGs 月間である9月にサステナビリティに触れる機会を設けることで、従業員がサステナビリティを身近に感じるとともに、バンダイナムコグループにおけるサステナビリティ文化醸成につなげてまいります。

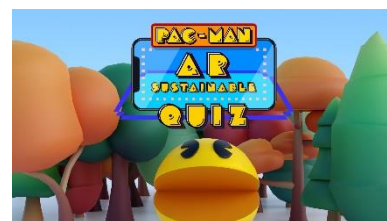
■サステナビリティを学べる AR コンテンツ「PAC-MAN AR-sustainable quiz-」概要

「PAC-MAN AR-sustainable quiz-」は、地球環境に関するクイズを楽しく学ぶための現実世界と仮想世界を組み合わせた AR クイズゲームです。

プレイヤーは、スマートフォンを使用して、全国のバンダイナムココアミュージメント店舗に掲示したポスターなどからアクセスし巨大なパックマンを操作しながらクイズに挑戦します。

ゲームは、「気候変動」「水資源」「フードロス」などサステナビリティに関するテーマの中から5つのクイズを出題、最初の2つは易しく、後半の3つは難易度が上がるクイズとなっています。

外などの広い空間では AR の仮想世界に出現した巨大なパックマンを操作してクイズに回答していきます。部屋の中などの限られた空間では、卓上サイズに AR を切り替えて楽しむことができます。



※現在開発中のイメージ画面です。

AR 公開期間 : 2023年9月4日（月）～12月31日（日）

AR 起動用 QR :



※全国のバンダイナムココアミュージメント店舗（約 250 店舗）において同施策のポスターを掲示します。

公式 WEB サイト : <https://www.bandainamco.co.jp/sustainability/special/sustainaweek.html>

製作ディレクション : 株式会社ロフトワーク

AR 製作 : 竹川 諒

※本 AR は無料でご体験いただけますが、作品のダウンロードに伴う通信量はお客様のご負担になります。

※本施策の体験にはご自身のスマートフォンが必要です。

※スマートフォンの推奨端末：iPhone・iOS11.0 以降/Android 8.0 以降

※お使いのスマートフォンの仕様やご使用状況により視聴いただけない場合もあります。

※プレイに関する注意事項

- ・ARをプレイする際は交通ルールを守り、他の人の通行の妨げにならないようご注意ください。
- ・歩きながらのプレイは危険ですのでおやめください。
- ・ARをプレイする際のトラブルなどに関しましては一切の責任を負いかねます。

以下は、バンダイナムコグループ従業員向けのサステナビリティ施策となります。

■バンダイナムコグループ「サステナビリティ WEEK」概要

バンダイナムコグループでは、「パーパス“Fun for All into the Future”」のもと、バンダイナムコならではの活動に取り組むというサステナビリティ方針を定めています。

その実践に向け、特に重点的に取り組む必要がある5つのテーマをマテリアリティ（重要課題）として特定し、サステナブル活動を推進しています（※詳細は参考資料をご参照ください）。

バンダイナムコグループ「サステナビリティ WEEK」は、従業員がサステナビリティを身近に感じるとともに、サステナビリティ文化醸成につなげるための初の試みとして開催するもので、オンラインセミナーや古着回収など、様々な施策を実施します。



期間：2023年9月4日（月）～8日（金）

主な施策：

- ・オンラインセミナー

歌手の米良美一さんの特別講演の他、バンダイナムコグループのサステナビリティ施策である「ガンプラリサイクルプロジェクト」と「CLENA3」開発秘話の紹介、ダイバーシティ&インクルージョン推進に向けて、「男性の子育て参画支援」、「子育て期を見据えた女性の産休育休によるキャリア形成」への影響、「LGBTQ への理解」、「発達障害」をテーマにした7つのオンラインセミナーを開催します。

※「ガンプラリサイクルプロジェクト」について

<https://www.bandaispirits.co.jp/hobbycenter/recycleproject.html>

※「CLENA3」について

株式会社バンダイナムコアミューズメントが手掛けるクレーンゲームであり、全国店舗の運営ノウハウをもとに、景品運営やスタッフの負担減を配慮した工夫を凝らしているだけでなく、省電力モードが搭載されているなど、初代クレナフレックスと比べ、消費電力は約56%減となっているクレーンゲーム機。

https://bandainamco-am.co.jp/company/NEWS/am/20221129_1300_18-C-023.html



米良美一さん

- ・VR 体験

発達障がいや LGBTQ を VR で体験し、職場での多様性の実現にむけた当事者への接し方、合理的配慮、支援について考えます。

- ・古着回収大作戦

(株)バンダイナムコホールディングスや(株)バンダイナムコエンターテインメントが入るバンダイナムコ未来研究所、(株)バンダイ本社、(株)バンダイナムコフィルムワークス本社、(株)バンダイナムコアミューズメント本社、(株)バンダイナムコスタジオ本社など複数の拠点で従業員の古着を回収し、社内で使用するラックや展示用什器にアップサイクルします。



- ・健康フェスタ

バンダイナムコ未来研究所など主要拠点で開催。体成分測定（インボディ）など通常の健康診断では検査できない測定を行い、自身の健康状態を確認します。

- ・食で学ぶサステナビリティ

各拠点の社員食堂で、端材を使ったスープや地産地消を目的に地元野菜を使った料理の提供といったサステナビリティに関するメニューを期間中販売します。

※プレスリリースの内容は、発表日現在のものであり、予告なく変更する場合があります。

【参考資料】

バンダイナムコグループのサステナビリティ「サステナビリティ 笑顔未来へつなぐ」

サステナビリティ方針：

バンダイナムコグループは、IP（キャラクターなどの知的財産）軸戦略のもと、ファンとともに、バンダイナムコグループが向き合うべき社会的課題に対応したサステナブル活動を推進します。

バンダイナムコグループの5つのマテリアリティ：

バンダイナムコグループは、パーパスである「Fun for All into the Future」を社会における存在意義と位置づけ、その存在意義を果たすために、特に重点的に取り組む必要がある5つのテーマをマテリアリティとして特定し、活動に取り組んでいます。

⇒ 地球環境との共生

地球環境に配慮した事業を推進することが、社会と企業の持続可能な発展の実現に欠かせないことを認識し、様々なステークホルダーとともに、地球環境との共生を目指します。



⇒ 適正な商品・サービスの提供

お客さまの安心・安全を第一に考え、適正な倫理規範のもと、品質や安全性が確保された商品・サービスをパートナーと一体となって提供し、顧客満足度の向上に努めます。



⇒ 知的財産の適切な活用と保護

重要な経営資源である IP を適切に活用・保護することにより、エンターテインメントの持続的な発展に寄与します。



⇒ 尊重しあえる職場環境の実現

従業員をはじめバンダイナムコグループに関わるあらゆる人々が互いを尊重しあい、生き生きと働くことができる職場環境を実現することで、社会と企業の持続的な発展を目指します。



⇒ コミュニティとの共生

バンダイナムコグループが地域やファンから愛され、社会から必要とされる企業であり続けるために、コミュニティとともに生き、発展していくことを目指します。



サステナブル活動に関する詳細は下記サイトをご確認ください。

株式会社バンダイナムコホールディングス サステナビリティサイト

<https://www.bandainamco.co.jp/sustainability/index.html>

以上